

1 東電福島第一原発事故後**55か国・地域**が日本産食品等に対する輸入規制措置を導入

2 規制を維持する国・地域に対し働きかけを実施

(1) 会談や国際会議等**様々な外交機会を活用し、総理・大臣から働きかけ**

例: 日米首脳会談、日EU定期首脳協議、日中外相電話会談、日英外相戦略対話

その他にも、

(2) 各国首都にて大使から働きかけ、

(3) 関係省庁と連携し、東京にて在京の各国大使に働きかけ等を実施。

3 日本の**食品の安全性確保の取組を説明**

➤ 国際的に比較しても**極めて厳しい基準値を設定し検査を実施**

➤ 適切な食品モニタリングを実施

➤ 出荷制限措置等で基準値を超える食品は市場に流通させない体制を確保

一般食品中の
放射性セシウム量基準

- ◆ 日本: 100
- ◆ Codex: 1,000
- ◆ EU: 1,250
- ◆ 米国: 1,200 (Bq/kg)

4 これまでに**43か国・地域が完全撤廃**、その他**11か国・地域で緩和**が実現

→あらゆる機会を捉え各国・地域への規制撤廃の働きかけと情報発信を継続

原子力災害による風評被害を含む影響に対する最近の外務省の取組

知ってもらおう

◆ 輸入規制の撤廃・緩和に向けた「草の根」からの働きかけ

- 欧州のテレビ局ユーロニュース社と協力して、原発事故後の安全・安心への取組(除染の進捗、ALPS処理水の取扱いを含む廃炉の工程、IAEAの評価、国際基準に則った措置等)や地元農産品などの福島の魅力(2021年3月)、福島産食品の安全性確保に向けた取組と各国の輸入規制緩和の動き(2022年3月)をテーマに番組を制作・放送。
- 韓国の報道機関関係者約60名を対象に、復興の進捗状況、東電福島第一原発の現状、日本産食品の信頼確保と輸出の拡大等に関するオンライン説明会を開催。(東電福島第一原発について)第一の優先順位は安全確保であり、確実な情報提供をしていく、(日本産食品について)放射性物質の基準値を超えた農林水産品は市場に絶対流通させない措置をとっている、といった日本側の説明を含む記事が韓国メディア上に30本以上掲載された(2021年3月)。
- 東電福島第一原発の廃炉の取組の進捗について、IAEA事務局長や専門家のインタビューを通じて、ALPS処理水の海洋放出が国際慣行に沿ったものであり、安全で実現可能であることを発信する動画を制作・配信(2021年7月)。また、被災地の食品の安全・魅力を発信する動画を制作・配信(2022年3月)。

政策広報動画
「福島の安全・再生の歩み」



食べてもらおう

◆ 被災地産品等の利用・販売促進

- 令和4年度地方創生支援対外発信事業として、外務大臣及び福島県知事共催「ふくしま復興レセプション～挑戦を続けるFukushima～」を開催。福島県知事が駐日外交団等約140名に対し最新の復興状況等を説明した。また、参加者に日本酒、桃、米、肉、野菜等を試飲・試食形式で提供し、食品の安全性とともに美味しい県産品を紹介した(2022年7月)
- 福島県郡山市と共催で、駐日外交団を対象とした地方視察ツアーを実施。食や農業の現場を通じて福島の魅力を発信し、食品輸入規制の撤廃や風評被害の払拭に向けて、駐日外交団に対し理解と協力を求めた(2021年11月)
- 国際会議等の機会に規制対象となっている産品を活用し、参加者に安全性や魅力をPR
 - ・G20愛知・名古屋外務大臣会合(2019年11月)
 - ・G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合(2019年6月)
- 海外の日本大使館・総領事館等にて日本の農林水産物・食品をPR
 - ・在ホーチミン総領事公邸で福島県を含む自治体と共催でレセプションを開催(2021年3月)。地域の魅力を説明するとともに、試食・試飲ブースで福島県産の日本酒や焼酎を提供した。

「ふくしま復興レセプション」の
福島県産肉・野菜紹介ブース



地方視察ツアーで
福島県内のいちご
農園を訪れた
参加者

原子力災害による風評被害を含む影響に対する最近の外務省の取組

来てもらう

◆ 海外からの観光振興に向けた取組

- 福島県の観光地の魅力と安全・安心の取組を紹介する動画を制作、BBCを始めとする海外主要テレビ局を通じ全世界で放送(2021年2月、3月)。
- 在中国大使館のSNSで被災地を含む日本各地の観光・文化・食などの魅力を伝える動画を配信(2021年12月～2022年2月)。

◆ 外国メディア関係者による理解促進及び海外メディアを通じた情報発信

➢ 海外主要テレビ局による編成番組の制作・放送・オンライン配信

- ・BBC「Japan's Wilderness With Nick Baker」。英国の人気番組プレゼンターのニック・ベイカー氏が東北地方を訪れ、豊かな自然・観光資源や特産品、復興の歩み等を紹介する番組を全世界で放送(2021年2月、3月)。

注:取材先(2020年11月):磐梯朝日国立公園 あだたら高原、吾妻小富士、岳温泉、アクアマリンふくしま、宮城県伊豆沼・内沼、盆栽、あんぽ柿農園、福島県の五輪聖火ランナー、鈴木酒造店長井蔵等

➢ 在京外国メディア関係者向けに福島県へのプレスツアーを実施

- ・2020年1月:韓国、スペイン、ドイツ、スイス、米国(10社12名)
- ・2020年10月:韓国、インドネシア、英国、ドイツ、デンマーク、米国(8社8名)
- ・2021年11月:韓国、米国、英国、中国、ロシア(5社6名)

注:取材先:福島県庁、福島県農業総合センター、梨・いちご農家、福島県水産海洋研究センター、小名浜港、東電福島第一原発等

➢ 様々な機会を活用して外国メディアによる被災地の取材をアレンジ

- ・2021年11月:UAEから招へいした記者向けに、福島県への訪問を企画し、現地取材をアレンジ。
- 注:取材先:JA梁川共同選果場、あんぽ柿農家、道の駅「伊達の郷りようぜん」



在中国日本国大使館のSNSアカウントで発信した福島県郡山市のPR動画



BBC番組制作で、福島県内のあんぽ柿農園をレポートするベイカー氏



小名浜港(漁協)による自主検査を取材するプレスツアー参加者



東電福島第一原発を取材するプレスツアー参加者